

相談できる窓口について

- 市町村の窓口
母子保健担当課、福祉担当課、子ども担当課、精神保健担当課、教育委員会など
- 子どもの通っている保育所、幼稚園、学校など
- 障害者相談支援事業所
相談支援専門員が、福祉に関する様々な相談に応じたり、サービス利用計画の作成・成年後見制度利用に関する相談などを受けます。
- 児童相談所（県内に中央児童相談所、大隅児童相談所、大島児童相談所の3か所）
- 精神保健福祉センター
- こども・若者総合相談センター（ひきこもり地域支援センター）
- 障害者就業・生活支援センター（県内に5か所あります）
障害のある方の就職や生活の相談や企業の障害者雇用相談などに応じる窓口です。
- 障害者職業センター
障害のある方に対して、公共職業安定所等の関係機関と連携して、就職に向けた相談、職業能力等のアセスメント、就職前の支援から就職後のフォローアップまでのサービスを提供しています。
- 公共職業安定所及び就労相談機関～県内各地域にあります。

発達障害者支援センターのご案内

発達障害者支援センターは、発達障害児（者）やその家族からの相談に応じ、専門的な指導及び助言を行い、就学前の発達支援から就労支援まで、ライフステージに応じた支援を行うとともに、発達障害児（者）に関わる医療、保健、福祉、教育、就労等に従事する方々に対し、発達障害についての情報提供及び研修を行います。

支援内容

相談支援・発達支援

就労支援

普及啓発・研修

利用案内

電話相談

- 月～金 8：30～17：00
- 土曜・日曜・祝日は休みです。

来所相談

- 電話での予約が必要です

訪問支援

- 予約により、関係機関に職員が出向きます
- 当センターでの相談などは無料です。
- プライバシーに関する情報は厳守します。

交通アクセス

子ども総合療育センター 発達障害者支援センター



JR九州

指宿・枕崎線宇宿駅下車。宇宿小前バス停から市営バス、鹿児島交通バス利用(桜ヶ丘南下車)。タクシー5分

市電

脇田電停下車。脇田電停前バス停からシャトルバス利用。または宇宿小前バス停から市営バス、鹿児島交通バス利用(桜ヶ丘南下車)。タクシー5分。

バス

バス	番号	系統	始発(停車)	片道運賃
市営	18	大隅南線 宇宿小前バス停	脇田電停 (宇宿電停)	桜ヶ丘南線 (徒歩5分)
バス	番号	系統	始発(停車)	片道運賃
鹿児島交通	14	桜ヶ丘南線	宇宿電停 (宇宿電停・脇田電停・大隅南線)	桜ヶ丘南線 (徒歩5分)
	17	桜ヶ丘南線	脇田電停 (宇宿電停・脇田電停・大隅南線)	桜ヶ丘南線 (徒歩5分)
	18	脇田電停	鹿児島駅 (大隅南線・大隅南線・佐土・佐土)	鹿児島駅 (徒歩5分)
	19	桜ヶ丘南線	鹿児島駅 (大隅南線・大隅南線・佐土・佐土)	鹿児島駅 (徒歩5分)
	34	桜ヶ丘南線	鹿児島駅 (大隅南線・大隅南線)	鹿児島駅 (徒歩5分)
	34	鹿児島 ニュータウン	鹿児島駅 (大隅南線・大隅南線)	鹿児島駅 (徒歩5分)

世界自閉症啓発デー



・毎年4月2日は、
国連の定めた
世界自閉症啓発デーです。
・毎年4/2～4/8は
発達障害啓発週間
になっています。

発達障害って何だろう？

～正しい理解と支援のために～



鹿児島県発達障害者支援センター

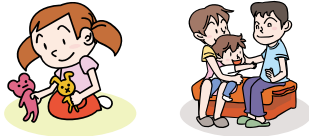
〒891-0175
鹿児島市桜ヶ丘 6-12 (鹿児島県子ども総合療育センター内)
TEL：099-264-3720 FAX：099-265-0006
Email：hattatsu@pref.kagoshima.lg.jp

SP コード (視覚障害者のための音声コード)



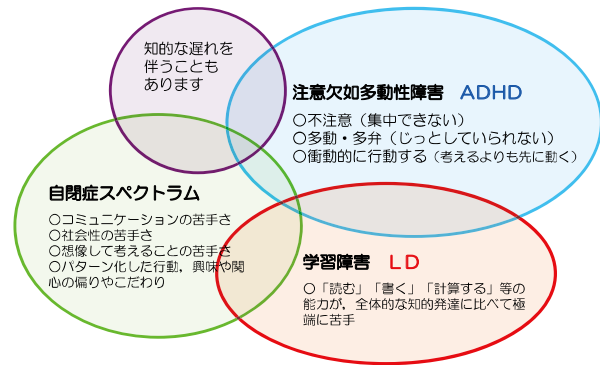
発達障害とはどのようなものですか？

脳の機能に何らかの障害があり、行動や認知機能の遅れや偏りといった症状が、通常低年齢（発達期）に現れるものを総称して「発達障害」といいます。（発達障害者支援法の定義）



親のしつけや家庭環境によって引き起こされるものではありません。
早期の気づきと早期の発達支援が必要です。

それぞれの障害の特性



・「自閉症スペクトラム」とは、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害などは別のものではなく、連続体としてとらえた方がいいという考えからの名称です。

発達障害のとらえ方とサポートのポイント

自閉症スペクトラムによく見られる特徴

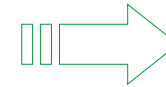
・自閉症スペクトラムには、「対人関係や社会性の障害」「コミュニケーションの障害」「想像力の障害（興味や関心が狭く、特定のものにこだわる）」という三つの特徴があります。

子どもの場合（特徴例）

- ・生活日課（着替えの順序など）のわずかな変化にも対応が困難で、パニックを起こすことがある。
- ・感覚の過敏さがあり、特定の刺激に敏感に反応することがある。
- ・場の空気を読み取ることが苦手。
- ・表情やジェスチャー等の理解や利用が苦手。

大人の場合（特徴例）

- ・行動がマイペースなことがある。
- ・会話がぎこちなくなることがある。
- ・特定の分野で優れた能力を発揮することがある。
- ・敬語を使うことが苦手で、マナーや礼儀をわきまえないように見えることがある。



サポートのポイント（自閉症スペクトラム）

- ・子どもの行動を問題視されやすいため、まず自閉症スペクトラムとはどういうものかを理解した上で接することが大切です。
- ・スケジュールや取り組み内容を知らせ「見通し」を持たせましょう。
- ・場面に応じた話し方を教えていく必要があります。
- ・対人関係の基本的スキルやマナーを教えることも大切です。
- ・周りの状況を理解しにくいので、他人から利用されたり思いがけないトラブルに巻き込まれたりしないように配慮しましょう。

ADHDによく見られる特徴

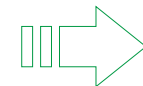
・年齢あるいは発達に不釣り合いな行動の障害で、多動性、衝動性、不注意などのために、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすもので、だいたい7歳以前に特徴が現れます。

子どもの場合（特徴例）

- ・忘れ物が多い。
- ・落ち着きがなく、じっとしていない。
- ・人の話を最後まで聞かずに途中で切れる。
- ・待つことが苦手で、イライラしやすい。
- ・興味、関心が移りやすい。

大人の場合（特徴例）

- ・忘れ物が多い。よく物をなくす。
- ・注意していても、なぜか約束を忘れる。
- ・机の上などが片づけられない。
- ・目先のことにこだわる。
- ・同じ失敗をくり返すことがある。



サポートのポイント（ADHD）

- ・気が散りやすいため、刺激の少ない環境づくりに配慮しましょう。
- ・子どもの言動を「わがまま」とか「自分勝手」ととらえないで、なぜそうだったかの原因をさがしましょう。
- ・場にそぐわない行動をしても、本人は気づかないことが多いので、叱るよりも適切な行動を示しましょう。
- ・指示は一度に一つずつ、具体的に短い言葉で伝えましょう。
- ・自尊心を大切に、自信をなくさないようにしましょう。



LDによく見られる特徴

・知的な遅れはありませんが、聞く、話す、読む、書く、計算するなどの学習能力のうち、特定のものについて極端に習得や使用が困難な障害です。

子どもの場合（特徴例）

- ・文字を見えるのが苦手である。
- ・聞き間違いや聞き漏らしがある。
- ・勝手に読みをしたり、文中の語句を抜かしたりする。
- ・簡単な読解が難しい。

大人の場合（特徴例）

- ・地図の見方が、なかなか分らない。
- ・会議などでメモを書くことに集中するため、会議の内容が分からなくなってしまう。
- ・内容を分かりやすく伝えることが難しい。
- ・話し合いの流れが理解できない。



サポートのポイント（LD）

- ・何の学習が不得意かにより対応が異なるため、能力に応じた個別の対応を学校等と連携して行うことが必要です。
- ・いろんなタイプがありますが、それぞれの特徴に応じた形でのかわりが必要になってきます。
- ・大人になっても、特定の領域での困りが続く人もいますが、かわりの基本は同じで、学習の基礎的なところから始めることが大切です。